

# 東方青龍

とうほうせいりゅう(Green Dragon)

伊勢崎市立あずま中学校

学校通信 NO.192

令和2年5月11日(月)



## 来たるべき、学校再開の日に向けて

臨時休校措置が5月末まで延長となりました。始業式・入学式以来、登校できない日が続いていますが、生徒の皆さんは元気に過ごしているでしょうか？ 学校では教職員一丸となって、登校できない生徒の皆さんが家庭で自主学習に取り組めるよう、課題を配布したり回収したりする準備を進めています。現段階では6月1日から学校が再開される予定ですが、それまで体調管理に注意し、規則正しい生活を心がけてください。そして、与えられた課題を中心に、各自しっかりと家庭学習を進めてください。(学校のホームページには「休校中の在校生ページ」を作り、皆さんの学習に役立つような情報を載せています。)



課題配布準備中！

本来ならば、毎日登校して1日6時間の授業＋部活動という生活を送っているはずでした。学校再開後、すぐにこの生活リズムに馴染めるよう、普段から心と体の準備をしてほしいと思います。

新鮮な気持ちで学校再開の日を迎えるよう、始業式での学校長式辞を掲載します。

皆さん、おはようございます。今日は令和2年度の始業式であり、まさに今年度のスタートの日であります。あずま中の皆さんが、明日への希望を大きく咲かせることができることを、この、年度の初めに強く願いたいと思います。

そこで、今日は、皆さんがこの1年間に大きく成長できるように、素敵な言葉を紹介します。それは「神様は、乗り越えられない試練は与えない。自分に乗り越えられない壁はない」という言葉です。

これは、白血病と発表した水泳の池江璃花子さんの言葉です。この言葉は、「常に心を磨き、自己を高め続けていれば、いかなる苦難に見舞われようと運命は必ず、やさしく微笑み返してくれる。誠実で美しい心をもって事に当たるならば、何事もうまくいかないものはない」ということを教えてくれています。池江さんにとって、水泳競技人生は、かけがえのない大切なものですが、今はこの言葉を信じ、完治をめざして、周りの方々の支えに感謝しながら病氣と闘っています。

現在、私たちの前には、新型コロナウイルスという目に見えない壁が立ちふさがっています。この厳しい試練とも言える困難に立ち向かっていくことが、自分自身にとっても、また人類にとっても、大きく進歩、成長するための試金石であると考えれば、皆と協力し合いながら、前向きに、明るく、乗り越えていけると 생각합니다。皆さんには、これから直面する問題や課題は、すべて自分を磨いてくれるチャンスだと思って、そこから逃げるのではなく、とことん踏ん張って、一步一步、前へ進んでいってほしいと思います。どんなときにも、自分の力に余るほどの、できる限り大きな目標を設定し、誰にも負けない努力をし続けることで、自分自身に磨きをかけ、必ずや多くの人々に感動を与え、感謝される立派な人間へと成長することができるでしょう。

さあ、皆さんは、この1年間どう自分自身と向き合っていきますか。自分の欠点であったり、逆境とも言えるものがあっても、それは、「もっと幸せになるための材料」だと考えて、前向きに、前進をしていてください。決して、後ろを振り向いたり、足を止めることなく、前向きに考えて、どんなときも、明るく、楽しく毎日を過ごしていきましょう。そうすることで、きっと皆さんの夢は実現へと向かうと思います。